

I 萩野地区小中一貫教育校実施計画策定委員会の活動

1 「萩野地区小中一貫教育校実施計画策定委員会」関連検討事項

(1) 萩野地区小中一貫教育校実施計画策定委員会

- ①実施計画の承認
- ②各部会準備調整
- ③計画策定の進捗状況の確認
- ④各新課題対応
- ⑤一貫校地区への広報啓発等

(2) 校名・校章・校歌・制服等検討部会

①校名の検討

統合小学校名＝「萩野小学校」、一貫校名＝「萩野学園」

②校章（校旗も含む）の検討

京野秀明氏デザインに決定。人間国宝・奥山峰石氏に作品作成を依頼し、年内には完成予定。この作品は、平成27年4月の開校式でお披露目をし、学園昇降口のメモリアルコーナーに通年展示する予定。

③校歌の検討

作詞＝近江正人氏、作曲＝木島由美子氏に依頼し、年内に完成予定。児童生徒が木島氏に歌唱指導を受けて、平成27年4月の開校式でお披露目を予定。

④制服等の選定と検討

P T A，保護者の皆様のご協力を得ながら、制服は三つボタンのブレザータイプ（カンコー）、ジャージは被り型タイプ紺色で半袖は白色、上下のサイドに4校を表す4本のライン入り。

⑤P T A組織と予算（平成26年度以降はカリキュラム等検討部会へ）

4校の会長等役員が協議を進めており、遅くならない時期に組織立てが必要。組織ブロック分けと役員選出方法が課題。P T A会費は3,500円で調整予定。

⑥新後援会組織

泉田小教育後援会長、昭和有畜実行組合長、萩野中教育後援会長を軸として協議調整を進める予定。

⑦一貫校説明会（以下の予定）

萩野学園説明会（全体：児童生徒、保育所、幼稚園）・・・11月29日（土）

新7年生説明会・・・12月1日（月）、新1年生説明会・・・2月12日（木）

⑧竣工式・入校式・開校式案について

○閉校式・・・泉田小11月22日（土）、萩野小3月8日（日）、昭和小3月22日（日）
入学式の前に開校式を行う予定。入学式は1年生のみ、卒業式は9年生のみの予定。なお、9年間という長い学校生活の中で成長段階での節目として、二分の一成人式（4年生）、立志式（7年生）などを取り入れていくことを検討。

○竣工式の実施時期については、グラウンド・外構工事との兼ね合いを考慮し、実施時期は要検討。

(3) カリキュラム等検討部会

①教育課程（方針、日課表、年間行事、9年間教科指導計画）

発達段階に応じた学年区分（4－3－2制）で実施する。学校経営計画（案）を作成。（7割程度完成）「学び・育ち・いのち」の創造部でめざす子どもの姿を実現。また、9年間の教科指導計画は完成。市内各校にも配付済み。

②校内組織

校長1、教頭3、教務主任3で4－3－2に対応。養護教諭は小中に1名ずつ配置希望。5月に県教委との協議会が行われる予定。また、事務職2、用務員2の予定。

③教科教室制運用

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技・家での授業で8・9年生で実施。教科の専門性を生かし、主体的な学習を展開。生徒がすぐに使え、参考になるレイアウトを考慮。7年生は一部導入。

④児童会・生徒会の組織活動案

平成26年度に検討。

⑤経営の重点

地域に根ざした小中一貫教育の推進。小学校段階からの一部教科担任制。教科教室制。異学年交流の推進。

⑥校内研修

授業づくりのテーマを一本化して、授業づくりと集団づくりを柱に研究を実践。

⑦児童生徒の交流学习

清掃の時間を同じにして、縦割りによる清掃活動を実施。

⑧部活動・スポ少

小学校教員の部活動参加については部活動経営に照らして。5年生からの参加は希望者による。7年生以上は原則部活動に参加。スポ少と部活動の接続は時間をかけて検討。

⑨入学式・卒業式

入学式は1年生が、卒業式は9年生が実施。区切りとして、1／2成人式や立志式を実施。

⑩修学旅行計画

6年と8年でそれぞれ単独で行う。

⑪給食・食育

市の職員による自校給食を実施。給食後の歯磨きを小中で実施。4校の特色ある給食活動をどのように活かすか検討。（食材の調達方法など実務を詰める。）

⑫開校に向けた新たな課題への対応

経営研等作業部会及び運営組織研等作業部会は25年度で終了。26年度は交流等作業部会を新たに加え、カリキュラム策定作業部会、分掌研等作業部会で細部を検討。

(4) 施設設備等検討部会

①学校施設設備の検討

エアコン設備がない普通教室への扇風機の設置、LED照明の導入検討、中庭の整備方法(どのような使い方をするか、素材は。)、メモリアルコーナーの作り方、職員室レイアウトの詳細検討など

②グラウンド外構及び泉田小跡地利用

○グラウンド外構・・・校門と校章、用具庫と作業小屋、遊具広場等の不審者対策、植栽・水周り、夜間照明など

○泉田小実施設計発注予定。実習田の継続活用、

③通学路・通学方法・スクールバス運行・・・作業部会の設置

スクールバス3台の対象児童・生徒の把握、運行経路・時間、停留所の位置など具体的に詰める。萩野学園スクールバスの運行に併せて、赤坂方面の民間バス活用児童の経済的負担の軽減策として補助制度を創設すること。(市全体の制度として)

④学校事務の取扱

事務職2名の役割分担、事務処理マニュアルの作成

⑤備品の移管

台帳の電算化は完了。備品購入計画の作成と早期発注、備品移管作業の具体的計画の作成

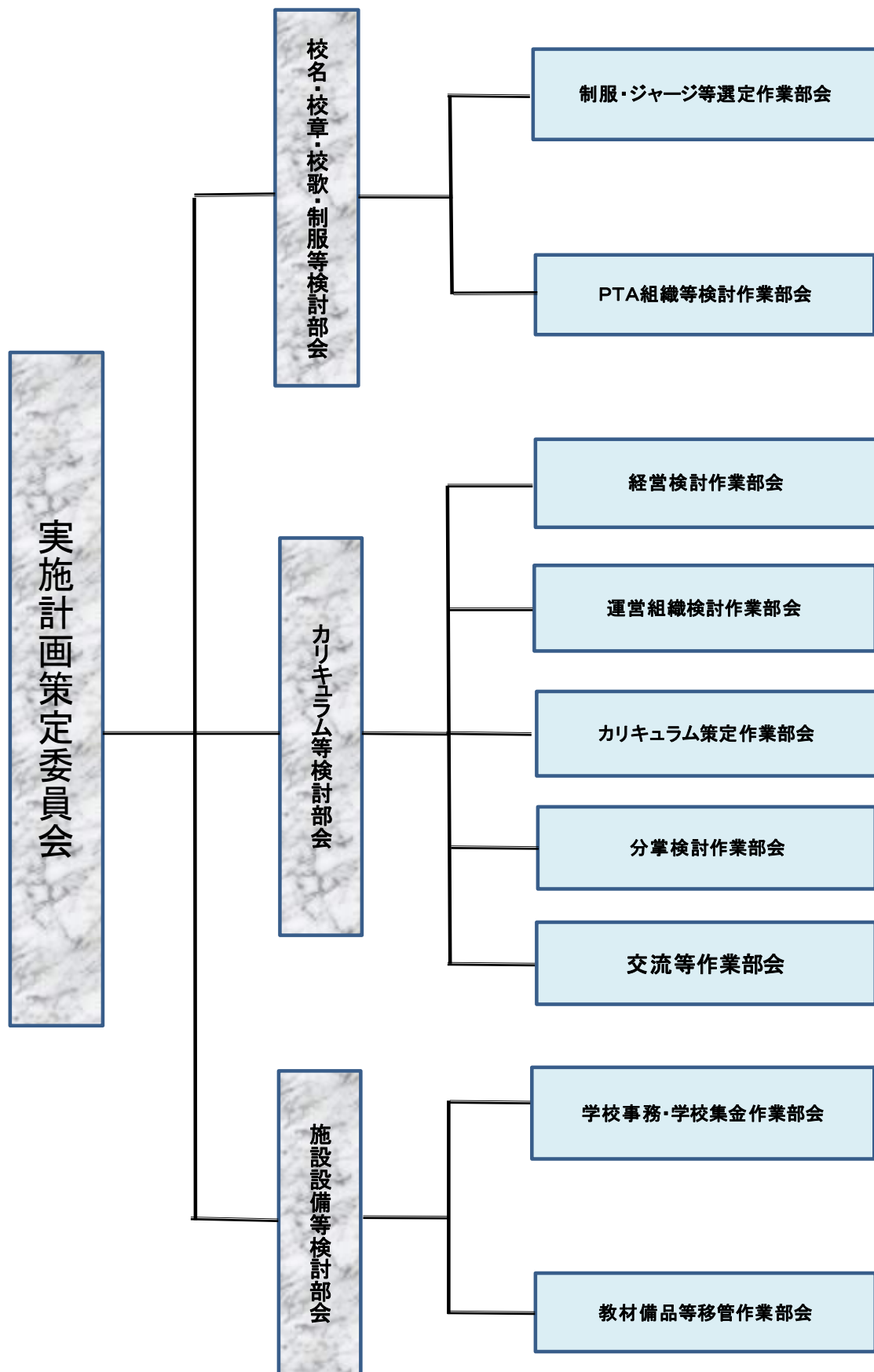
⑥学校集金

集金事務マニュアルは作成済み。

⑦公簿等の保存と移動等

先進例を参考として方針を決定し、早急に実務に取り掛かる。

2 部会・作業部会構成



3 萩野地区小中一貫教育校実施計画策定委員会検討経過

(1) 第6回(4月26日(金)、東庁舎会議室)

- ① 平成24年度実施計画中間報告のまとめについて
- ② 平成25年度の策定委員会の体制及び活動計画について
- ③ 部会報告及び質疑
 - ア 校名・校歌・校章・制服等検討部会
 - ・制服等の選定スケジュールについて
 - ・制服の着用学年について
 - ・具体的な制服のタイプについて
 - イ カリキュラム等検討部会
 - ・平成25年度の取り組みについて
 - ・作業部会の活動について(4月)
一貫校のスキー授業の扱いについて、今後の検討課題の一つとする。
 - ウ 施設設備等検討部会
 - ・施設設備検討部会の検討事項について、確認した。
学校施設設備、グラウンド外構及び泉田小跡地利用、通学路・通学方法・スクールバス運行、学校事務の取り扱い、備品の移管、学校集金、公簿等。
スクールバス等の運用と経費負担について、検討していく。
- ④ 制服・ジャージ等選定作業部会にかかる制服着用学年について
→校名・校歌・校章・制服等検討部会でまず検討し、策定委員会に報告する。
その後、最終的に策定委員会で決定する。

(2) 第7回(6月26日(水)、東庁舎会議室)

- ① 第6回策定委員会報告
- ② 部会報告及び質疑
 - ア 校名・校歌・校章・制服等検討部会
 - ・第4回制服・ジャージ等選定作業部会(5/29)について
制服の基本仕様について、制服選定業務の手順及びスケジュール
 - ・第7回校名・校章・校歌・制服等検討部会(6/13)について
一貫教育校の総称公募結果と選考方法、着用学年とタイプ等
 - イ カリキュラム等検討部会
 - ・第8回カリキュラム等検討部会報告
平成25年度の取り組みについて、各課題と担当
 - ・経営検討作業部会(4/24、5/13、6/10)
 - ・運営組織作業部会(5/15、6/19)
 - ウ 施設設備等検討部会
 - ・第10回施設設備等検討部会(4/23)について

- ・第11回施設設備等検討部会（6/20）について
図書館のレイアウトは、学習スペースが多いBプランでいきたい。

③ 制服選定業務実施要項の検討

- ・初期費用の項目を削除、120cmの小学生用の制服もプレゼンに加える、などの修正がなされ、承認、決定された。

④ 着用学年について

- ・プレゼンの前に保護者に説明する機会を設けていく。
- ・制服プレゼンは小学校1年生用からのもので実施し、実際の着用学年は、プレゼン後決定する。

(3) 第8回（7月24日（水）、東庁舎会議室）

① 前回（第7回）の策定委員会報告

② 部会報告及び質疑

ア 校名・校歌・校章・制服等検討部会

- ・ジャージ等選定業務実施要項の確認
→制服取り扱い業者は、最低2つにして欲しい。
- ・カバンの検討（基本仕様）について
- ・シューズの検討（基本仕様）について

イ カリキュラム等検討部会

- ・第9回カリキュラム検討部会について
教育課程の特色検討（卒業式と修了式、入学式についてなど）
平成25年度の取り組みについて検討した。
- ・作業部会の活動について
一貫校のスキー授業の扱いについて、今後の検討課題の一つとする。

ウ 施設設備等検討部会

- ・施設設備検討部会の検討事項について、確認した。
学校施設設備、グランド外構及び泉田小跡地利用、通学路・通学方法・スクールバス運行、学校事務の取り扱い、備品の移管、学校集金、公簿
スクールバス等の運用と経費負担について、検討していく。

③ 萩野地区小中一貫教育校「総称」の選定について

ア 公募結果総括

- ・応募総数262票、候補数135候補

イ 事前アンケートから

- ・事前アンケート（ポイント制による1～3位）を行い、2候補に絞った。
- ・和泉野学園 ・萩野学園

ウ 総称候補の選定

- ・小中学校との整合性（一貫教育校は萩野小学校、萩野中学校からなる。）を

考え、「萩野学園1年生」「萩野学園7年生」と言える名称がよい。

- ・萩野地区全体を表す名称である。
- ・萩野村からくる歴史ある地名で、「萩」の花は華やかでは内が、上品な花で力強さがあり、「萩」の名は残したい。などの意見が出され、総称として「萩野学園」が最も適当であるとなった。

この結果「萩野学園」に決定し、教育委員会に報告する。

- ④ ジャージ等の選定にかかる仕様等について
萩野地区小中一貫教育校のジャージ等選定業務実施要項の確認
- ⑤ 萩野地区小中一貫教育校の管理職構成案の変更について
 - ・小中一貫教育校基本計画では管理職等配置が、校長1、教頭2、主幹教諭1となっていたが、北部の校長会で、一貫教育校の学校経営の在り方を検討している中で、校長1、副校長1、教頭2の配置の方が、指導系統と担当が明確になり、スムーズな4-3-2のブロック制の運営ができるとの意見がだされ、承認された。

(4) 第10回(9月24日(火)、東庁舎会議室)

(8/19の制服プレゼンテーションを第9回とした。)

- ① 前回(第8回)の策定委員会報告
- ② 部会報告及び質疑
 - ア 校名・校歌・校章・制服等検討部会
 - ・制服プレゼンテーションを踏まえての2次選定について
 - ・制服の着用学年について
 - イ カリキュラム等検討部会
 - ・第10回カリキュラム検討部会について(8/21)
 - ▷ 各作業部会報告
 - ▷ 教育課程の特色検討
 - 小から中への区切りの欠如対応
 - 日課表の調整
 - ・第6回カリキュラム等作業部会(8/9)
 - ▷ カリキュラム策定作業
 - ウ 施設設備等検討部会
 - ・第13回施設設備等検討部会施設設備検討部会(9/6)
 - ▷ 学校施設設備の検討
- ③ 制服選定に係わる最終検討について
 - ア 制服業者
 - 各種採点、評価をトータル的に考えて、カンコー(山形オザキ)に決定。
 - イ 制服着用学年の決定

平成27年4月開校時の小学校5年生から制服を着用する。また、今後、小学校1年生からの着用を目指す。当面は小学校1年生から小学校4年生については制服着用を推奨するものとする。特に新入学時に推奨する。

ウ 前倒し 制服、ジャージ等の導入を予定より1年前倒し、平成26年度の中学校1年生より導入する。小学1年のジャージ、シューズも同様。

エ 小学生のカバンについては、校名・校章等検討部会で継続検討。

- ④ ジャージ等選定プレゼンについて
実施要項の検討

(5) 第12回(12月13日(金)、市民プラザ5, 6研修室)

(ジャージのプレゼンを第11回とした。)

- ① 前回(9月、第10回)の策定委員会報告

- ② 部会報告及び質疑

ア 校名・校歌・校章・制服等検討部会

- ・ジャージ等選定経過(2次選定まで)
- ・カバン、シューズの最終決定報告
- ・校章選考委員会報告(最優秀賞1, 優秀賞3, 奨励賞1)

イ カリキュラム等検討部会

- ・報告 第10回カリキュラム検討部会について
- ・教育課程の特色検討
- ・第7回作業部会報告(11月)。

ウ 施設設備等検討部会

- ・備品の移管について
絵画、美術品、卒業制作等の取り扱い

- ③ ジャージ選定に係わる最終検討

- ・業者プレゼンテーション等を受けてジャージ業者決定

11/1(金)「ジャージ見本プレゼンテーション」、11/3(日)~15(金)

「ジャージ見本の巡回展示」、11/22(金)「制服・ジャージ等検討部会における1次選定」、12/5(木)「校名・校章・校歌・制服等検討部会における2次選定」を踏まえて、ジャージ業者が(株)クラロンに決定した。

- ④ 校章デザインについて

校章選考委員会、校名・校章等検討委員会の選定を踏まえて検討した。

○最優秀賞⇒新庄市 京野秀明さん

○優秀賞 ⇒仙台市 小嶋雄一さん、弘前市 工藤和久さん

新庄市 奥山敏彦さん

○奨励賞 ⇒藤沢市 三浦優大さん

→京野秀明さんのデザインを校章デザインに最終決定した。

⑤ 校歌の作詞者について

元高校教員で新庄市社会教育委員でもある近江正人氏（日本現代詩人協会会員）に依頼することで決定した。

（6）第13回（2月4日（火）、東庁舎会議室）

① 前回（第12回）の策定委員会報告

② 部会報告及び質疑

ア 校名・校歌・校章・制服等検討部会

- ・ジャージ、カバン、シューズの選定について
- ・ネームについては校名を入れずに学年と名前のみ

イ カリキュラム等検討部会

- ・カリキュラム編成の進捗状況
- ・カリキュラム作業部会の構成を3部会で進める
- ・開校を来年に控えた教職員の意識の高まり

ウ 施設設備等検討部会

- ・備品の移管
- ・泉田小学校の跡地利用
- ・スクールバスの運行

③ 校章のカラーリング決定について

模型の色にすることが決定された。

④ 校歌作曲者の決定について

近江先生の推薦した木島由美子氏に決定した。

⑤ 制服等（最終タイプ）展示会について

萩野公民館で展示会を行い、99名の参加者があった。

（7）第14回（3月27日（木）、東庁舎会議室）

① 前回（第13回）の策定委員会報告

② 部会報告及び質疑

ア 校名・校歌・校章・制服等検討部会

- ・ネームの選定について
- ・ネームについては「萩野学園」という校名を入れることに変更
- ・給食納入業者については今後検討

イ カリキュラム等検討部会

- ・学校経営計画案は7割程度完成
- ・部活動の加入と運動部と文化部のバランス

ウ 施設設備等検討部会

- ・PTA会費の徴収

・エアコンの設置については、普通教室以外

③ 26年度の組織体制の一部変更について

制服・ジャージ等選定作業部会は終了し、PTA組織等検討作業部会はカリキュラム部会へ移る。

④ 26年度のスケジュールについて

4 実施計画策定委員会 部会検討経過

		実施計画策定委員会		
		校名・校歌・校章・制服等検討部会	カリキュラム等検討部会	施設設備等検討部会
4月	⑥4/26(金)15:30 第6回策定委員会(東庁舎)	○4/18(木)制服等作業部会③	○4/10(水)カリキュラム等作業部会① ○4/17(水)カリキュラム等作業部会②	⑩4/23(火)部会 ・検討事項の課題等決定時期について
5月	・策定委員会新体制 ・第5回策定委員会報告 平成24年度中間報告 ・平成25年度活動計画 ・部会報告(部会毎課題)他	○5/29(水)制服等作業部会④	⑧5/28(火)15:30部会 ・今年度の課題 ・検討内容と日程について	
6月	⑦6/26(水)	⑦6/13(木)部会15:00 ・一貫校総称応募状況 ・制服着用学年検討他 ○6/27(木)制服等作業部会⑤		⑩6/20(木)15:30第2回部会 学校施設設備の検討 (図書室、グラウンド外構等) ○6/21(金)作業部会(図書) ・蔵書除籍の基準 ・同冊本の処理 ・高額図書の取り扱い他
7月	・第6回策定委員会報告 ・部会報告 ・制服選定にかかる仕様について (着用学年、制服選定業務実施要項他) ⑧7/24(水)15:30 ・第7回策定委員会報告 ・部会報告 ・総称の設定(1つに) ・ジャージ、カバン、シューズ選定作業について ・一貫校管理職の配置計画他	○7/18(木)制服等作業部会⑥ ・ジャージ選定業務実施要項の確認 ・カバンの選定作業 ・シューズの選定作業 ⑧7/18(木)部会 ・一貫校総称候補選定について ・校章決定のプロセスについて ・ジャージ等の選定作業について	カリキュラムアンケート実施 ⑨7/9(火)15:30部会 ・作業部会報告 ・4-3-2を生かした指導 ・卒業式と修了式、入学式の検討	⑩7/17(水)部会 ・報告 ・メモリアルコーナーについて ・泉田小跡地利用について 他
8月	○8/19(月)制服業者プレゼン 41名の委員参加、4制服業者のプレゼン	○8/19(月)制服等作業部会⑦ 制服等選定プレゼン (検討部員も参加⑩8/19(月)部会)	○8/9(金)カリキュラム等作業部会③ ・教科指導計画の見直し① ・図工、総合、特活、道徳、分掌の計画検討他 ⑩8/21(水)部会 ・作業部会報告 ・教育課程の特色検討 小から中への区切り欠如対応 日課表の検討 45分と50分の兼ね合い	○8/30(金)作業部会(備品) ・備品移管にかかる整理方針等
9月	⑨9/24(火)15:30	○9/13(金)制服等作業部会⑧ ・プレゼンを受けて、1次業者選定 ・ジャージ選定のプレゼンテーション ・カバン、シューズの選定 ○9/19(木)部会⑩ ・プレゼン作業部会報告を受けて業者選定 ・ジャージ等選定のプレゼン等について ○9/20(金)ジャージ選定プレゼン等業者説明会		⑬9/10(火)部会 ・作業部会報告 ・メモリアルコーナーについて
10月	○明倫中学区推進協議会10/16 ○萩野地区推進協議会⑩10/16	○制服等作業部会⑨10/2(水) カンコーとの細部打ち合わせ	カリキュラムアンケート実施	
11月	○11/1(金)ジャージ業者等プレゼン ○市議会総務文教常任委員会 12/11小中一貫教育の進捗状況	○11/1(金)部会⑪、制服等作業部会⑩ ⑪ジャージ業者等プレゼン ○11/7(木)部会 校章選考委員の委嘱について ○11/22(金)制服等作業部会⑫ ジャージ等1次選定作業	○11/18(月)カリキュラム等作業部会④ ⑪11/28(木)部会 教科担任制、教科教室制の検討	⑭11/6(水)部会 備品の移管等
12月	④12/13(金)15:30 ○萩野学園学校説明会12/15(日) ○萩野地区推進協議会⑪12/22	○12/5(木)部会⑫ ジャージ等2次選定、校章選定 ○12/18(水)制服等作業部会⑬ ○萩野中新1年生制服等採寸(12/2,萩野公民館)		
1月	○制服等展示会(1/23~29,萩野地区公民館)	○1/16(木)部会⑭ 制服等最終見本展示、校歌作曲者依頼候補、校章デザインの色候補 ○1/22(水)制服等作業部会⑭ ジャージ業者最終打ち合わせ	カリキュラムアンケート実施	⑮1/17(金)部会 備品移管、通学バス、泉田小跡地利用
2月	⑤2/4(火)15:30 ○2/26火昭和地区学校づくり協議会 跡地利用について	○2/18(火)部会⑮ 経過報告、カバン校章マーク、ネームプレート業者選定他	○2/17(月)カリキュラム等作業部会⑤ 最終検討。 ⑫2/26(水)部会 教育課程特色最終検討	⑯2/28(金)部会 学校集金、次年度検討事項他
3月	⑬3/24(月)15:30			

5. 統合小学校の校名、一貫教育校の総称について

(1) 統合小学校の校名

① 名称の公募

3小学校が統合して新たにできる小学校名について、平成24年10月の1ヶ月間を募集期間として公募した結果、応募総数249件、名称件数33件であった。主な名称案としては萩野小学校、桜小学校、桜通り小学校などがあり、応募年代別では約8割が小中学生であった。

② 実施計画策定委員会での絞込み

市内及び萩野地区の有識者やPTA等の学校関係者で構成する「萩野地区小中一貫教育校実施計画策定委員会」で候補校名の絞込みを行い、「萩野小学校」、「和泉野小学校」、「泉田小学校」、「北部小学校」の4候補に絞り込まれた。

③ 教育委員会での校名選定

平成25年1月開催の定例教育委員会で協議の結果、以下の選考理由により「萩野小学校」を選定した。

- 地域全体を示す名称である「萩野地区」の唯一の小学校となること
- 萩野小学校から萩野中学校へ進学するということは、自然に受け入れやすいと考えられること（萩野村は、藩政時代の萩野村、泉田村、赤坂村が合併して明治22年施行された。昭和22年の学制改革で新制中学校として泉田中学校と萩野中学校が設置されたが、一村一校ということで昭和24年に統合し萩野中学校となった。）

なお、平成25年3月の市議会において、新庄市立学校設置条例の一部を改正し、正式に決定された。

(2) 小中一貫教育校の総称

現行6・3制の義務教育制度ではあるが、統合小学校の名称決定を受けて、新・萩野小学校及び萩野中学校が施設一体型の学校として設置されるに当たり、その総称を策定することとなった。

① 総称の公募

平成25年5月の1ヶ月間を募集期間として公募した結果、応募総数262件、総称候補数153件であった。主な名称案としては萩野学園、桜学園、ひばり学園などがあり、使われている言葉としては萩野（はぎの）、桜（さくら）が多数を占めた。

② 校名・校章・校歌・制服等検討部会での候補校名の絞込み

公募結果並びにこれに対する各部員の意見を踏まえた協議により、和泉野学園、萩野学園、桜学園の3名称を総称候補として実施計画策定委員会へ提案した。

各々の選定に係る意見のとしては、以下のとおりである。

- （和泉野は）現在の小中学校名が一文字ずつ入っており、三地区が一つになったという気がする、また、それぞれの地区を大事にしたいと思う。

- 「萩野」という名前が一番シンプルで地区の人たちにも分かりやすいから。
- 「さくら（桜）」という言葉が一番多く使われ、桜のイメージは、明るくみんなが持っていると思う。

③ 実施計画策定委員会での校名選定

各委員の意見表明では、「萩野学園」、「和泉野学園」が拮抗していたが、意見表明を基に審議した結果、「萩野学園」が選定された。

主な選定理由は、以下のとおりである。

- 小中学校との整合性を考え、子どもたちが「萩野学園 1 年生」、「萩野学園 7 年生」と言える名称が良い。
- 萩野地区全体を表す名称であり、総称として相応しい。
- 公募の結果でも一番多かった名称である。
- 萩野村からくる歴史ある地名で、「萩」の花は華やかではないが、上品な花で力強さがあり、「萩」の名前は残したい。

④ 教育委員会での総称決定

実施計画策定委員会の選定を受けて、定例教育委員会で承認され、正式名称として決定された。なお、現行制度上は条例により小中学校が別々に設置を規定されているが、一つの学校としての設置根拠については先進事例を参考としながら、教育委員会規則等で定める予定である。

6. 校章について

① デザインの公募

萩野学園は施設一体型の学校であり、校章及び校歌については一つとすることを策定委員会で決定された。総称の決定を受けて、10月15日から11月25日まで広く全国を対象としてデザインの公募を行い、124作品の応募があった。

② 校章選考委員会

デザインの選定は専門的見地からの評価が必要と考えられたため、美術関係の専門委員3名による事前選考を行ったところ、5作品に絞込みを行い、各委員による意見を含めて協議した結果、以下の作者がそれぞれの賞に選定された。

【最優秀賞】・・・京野秀明氏（新庄市）

【優秀賞】・・・奥山敏彦氏（新庄市）、小嶋雄一氏（仙台市）、
工藤和久氏（弘前市）

【奨励賞】・・・三浦優大氏（神奈川県藤沢市）

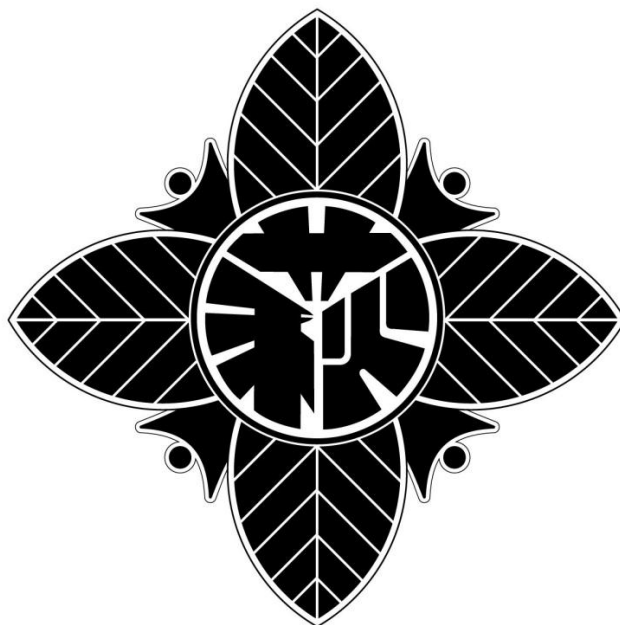
《 最優秀賞選考理由 》

- ・飽きの来ないデザインで、見る人の心を打つようなデザインである。
- ・「萩」の字を人が囲むような表現が、学校という場所のイメージに繋がる。
- ・小中一貫教育の9年間の中で愛されるデザインであり、伝統的で、子どもたちが伸び伸びと育っていくようなふくよかで優しい印象を受けた。

③ 実施計画策定委員会での審議決定

校名・校章・校歌・制服等検討部会及び萩野地区小中一貫教育校実施計画策定委員会で審議した結果、最優秀賞を校章デザインとすることで決定した。なお、選定デザインの加工修正及びカラーリングなどについて作者と協議を行い、再度、検討部会及び策定委員会で協議し最終的に以下のデザインに決定された。

《 最優秀賞の校章デザイン及び作成意図・イメージ、カラーリング 》



{ 萩の文字を中心から放射状に配置し、萩の葉に囲まれて、4つの旧校の子供達が一つになってのびのびと勉学に励むイメージを校章にした。 }

※ カラーリング 中央円の「萩」・・・エンジ色
4枚の葉・・・緑色
葉の間の4人の子どもたち・・・金色
葉の葉脈、子供たちの輪郭・・・白色

7. 校歌について

校歌も校章と同様に一つと決定された。作詞者及び作曲者については、部員、委員から萩野地区4校の教員として経験のある音楽の先生や新庄市出身の全国的な著名人まで多方面の方の名前が挙げられたが、検討部会及び策定委員会の協議を経て以下の方に依頼することで決定された。

① 作詞者・・・近江正人氏（新庄市在住、日本現代詩人会会員、山形詩人同人等）

新庄市在住で萩野地区の歴史、文化、自然、風習等に精通しており、元高校教員として長年教育に携わり、また、これまで数多くの学校の校歌を作詞している。豊富な経験と卓越した能力の持ち主であり作者として最もふさわしい。

② 作曲家・・・木島由美子氏（山形市在住、山形交響楽団専属作曲家）

現在、オーケストラ、吹奏楽、合唱、劇音楽など多方面で作曲活動を展開中であり、また、学校の校歌の作曲、編曲活動を全国的に行っている。校歌という従来のパターンに捕らわれず、若々しく新鮮で綺麗なメロディーを創りあげる。近江氏とも一緒に校歌を作成した経験がある。

両氏には、現地、萩野地区を訪問してイメージを膨らませて頂きながら、平成26年内の完成を目指している。

8. 制服等について

(1) 制服の選定内容

- 制服業者 カンコー（山形オザキ）
- 着用学年 平成27年4月開校時の小学校5年生から制服を着用する。また、今後、小学校1年生からの着用を目指す。当面は小学校1年生から4年生については千服着用を推奨するものとする。特に新入学時に推奨する。
- 前倒し 制服、ジャージ等の導入を予定より1年前倒し、平成26年度の中学1年生より導入する。

(2) 制服の検討の主な経過

- ① 制服見本プレゼンテーション（8月19日（月）：市民プラザ小ホール）
各社の見本について、基本姿勢、デザイン、素材、機能性、価格の5項目を点数制により実施計画策定委員、校名・校章・校歌・制服等検討部員、制服・ジャージ等選定作業部員が採点評価する。
- ② 制服見本の巡回展示（8月20日（火）～30日（金）：萩野地区小中学校）
基本姿勢を除く4項目について、児童生徒、教職員、保護者、地区民が採点評価する。
- ③ 制服・ジャージ等選定作業部会による一次選定（9月13日（金））
①及び②の採点結果を踏まえて選定した。
- ④ 校名・校章・校歌・制服等検討部会による二次選定（9月19日（木））
- ⑤ 実施計画策定委員会による最終決定（9月24日（火））

【小中学生区分】においてデザイン等の評価の高かった「スクールタイガー」という意見もあったが、【制服見本プレゼンテーション採点結果】及び【制服見本の巡回展示採点結果】のどちらにおいても、総合的に【評価合計】が最も高かった「カンコー」に決定された。

着用学年については、9年間を一貫した教育理念や指導観に基づく教育活動を展開する4-3-2制という新しい教育課程を取り入れることを踏まえ、当面、前期ブロックの小学校1～4年生については着用を推奨していくという判断がなされ、中期ブロックにあたる小学校5年生からの着用が決定された。また、保

護者の要望に応え、平成26年度の中学校1年生から新しい制服を着られるよう対応することが決定された。

(3) ジャージ、カバン、シューズの選定

- ジャージ：株式会社クラロンスポーツ（小・中とも同じデザイン、素材。紺色）
- カバン：(株) マルヨシ（中学生は指定カバン、小学生はランドセル）
- シューズ：教育シューズ（小学生の内履き、中学生の内履きと外履きを指定）

(4) ジャージ、カバン、シューズの検討の主な経過

- ① ジャージ見本プレゼンテーション、及びカバン、シューズ見本展示
(11月1日(金)：市民プラザ小ホール)
実施計画策定委員（ジャージのみ採点）、校名・校章・校歌・制服等検討部員、制服・ジャージ等選定作業部員により制服と同様の項目で評価採点を行った。
- ② ジャージ見本の巡回展示（11月3日(日)～15日(金)：萩野地区小中学校）
制服と同様の項目で児童生徒、教職員、保護者、地区民が採点評価する。
- ③ 制服・ジャージ等選定作業部会による一次選定（11月22日(金)）
①及び②の採点結果を踏まえて選定した。
- ④ 校名・校章・校歌・制服等検討部会によるジャージの二次選定（12月5日(木)）
併せて、カバン、シューズの最終選定を行った。
- ⑤ 実施計画策定委員会による最終決定（12月13日(金)）
ジャージについては、全ての検討段階において【ジャージ見本プレゼンテーション採点結果】及び【ジャージ見本の巡回展示採点結果】の【評価合計】が最も高かった「(株)クラロンスポーツ」に決定された。

カバン、シューズについては、見本展示の採点で一番総合得点が高かったカバンは(株)マルヨシに、シューズは教育シューズに決定した。

また、カバン、シューズの更新年次については、制服、ジャージと同様に平成26年度から、小学校新入生（1年生）、中学校新入生（1年生）を含む北部4校の在学児童生徒の更新時に、選定されたカバン、シューズを採用できることとなった。

(5) 制服等導入予定一覧

学 年		平成26年度	シューズ	平成27年度（開校）	シューズ
小学校1年	(1年)	新ジャージ・新シューズを購入。	(黄)	新ジャージ・新シューズを購入。 新制服は推奨。	(赤)
2年	(2年)	更新の際には、新ジャージ、新シューズを購入できる。	(青)	新制服を推奨。	(黄)
3年	(3年)		(赤)	新シューズを購入。 更新の際には、新ジャージを使用できる。 新制服を推奨。	(青)
4年	(4年)		(黄)		(赤)
5年	(5年)		(青)	新制服・新ジャージ・新シューズを購入。	(黄)
6年	(6年)		(赤)		(青)
中学校1年	(7年)		新制服・新ジャージ・新シューズ・ 新カバンを購入。	(黄)	新制服・新ジャージ・新シューズ・ 新カバンを購入。
2年	(8年)	現行の制服、ジャージ、シューズ、カバン。 ジャージ、シューズの更新は、新タイプで。	(赤)	更新の際も、新ジャージ、新シューズ を購入。	(黄)
3年	(9年)	現行の制服、ジャージ、シューズ、カバン。 ジャージの更新は、新タイプも可。	(緑)	現行の制服、ジャージ、シューズ、カバン。 ジャージ、シューズ更新は新タイプで。	(赤)

取り扱い店 新制服：大野呉服店、西田五兵衛商店 新ジャージ：大野呉服店、西田五兵衛、タカハシスポーツ
新カバン：庄司カバン店 新シューズ：大野呉服店

《 萩野学園の制服とジャージ 》

5～9年生男子冬服



5～9年生女子冬服



5～9年生男子夏服



5～9年生女子夏服



1～4年生男子冬服



1～4年生女子冬服



1～4年生男子夏服



1～4年生女子夏服



ジャージ：(株)クラロン

